

(10月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		17,935	96	18,201	196	98	188	-	-	熊本、長崎、愛媛産の入荷で8割を占める。表年の前年に比べ着果量は前年を下回る産地が多い。果実肥大は夏の干ばつにより小玉の仕上がりが予想されたが、8月下旬からの降雨により玉伸びは回復。入荷量は前年を下回り、価格は前年をやや下回る見込み。
かき類		9,165	104	9,996	252	91	229	42	0.5	和歌山、奈良産の入荷で9割を占める。和歌山産は中旬に刀根早生が終了し、引き続き平核無が入荷。入荷量は不作だった前年を上回る見込み。奈良産は9月末から入荷。10月中旬に品種の切り替えで一時入荷は減少するものの総体的には前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は夏果実の残量も多く、価格は前年を下回る見込み。
りんご類		9,089	100	8,344	277	81	271	1,932	21.3	青森、長野、岩手産が市況をリードする。つがるは9月に引き続き入荷。それに加え、山形・青森産ふじ、岩手・青森産のジョナゴールド、長野産のシナノスイートが入荷。各産地とも着果、肥大、着色とも順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は、販売環境が厳しく、前年を大幅に下回る見込み。
なし(ラフランス)		673	107	783	330	89	300	381	56.5	山形、長野産中心の入荷。主力の山形産は台風の被害もなく、順調な入荷が期待される。階級は大玉だった前年に比べ、1階級小さい。長野産は一部雹害もあるが入荷量は不作だった前年を上回る見込み。全体の入荷量は前年を上回り、価格は高値基調だった前年を下回る見込み。
ぶどう類		2,448	95	2,335	681	93	600	122	5	長野産中心の入荷。巨峰は房が小さく入荷量は前年を下回る見込み。岡山産のピオーネは玉張り良好。食味ぶどう類全体で概ね良い。入荷量は前年を下回り、価格はパックの比率が前年よりも高く前年安となる見込み。
いちじく		336	100	376	689	91	623	-	-	愛知、和歌山産県中心の入荷。生育は概ね順調で、入荷量は前年並みで価格は果実全般の販売不振もあり前年を下回る見込み。